

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

# みんなの力で改憲とめよう 憲法が輝く新しい社会を!

## 5.3おおさか総がかり集会に2万人

安倍内閣がねらう9条改憲を阻止しようと憲法記念日の5月3日、全国各地で集会やパレードなどが多彩にとりくまれました。大阪では、好天に恵まれた扇町公園で、アベ内閣即時退陣!のちとくらしと人権を!安倍9条改憲許さない!5.3おおさか総がかり集会が開催され、2万人が参加しました。大障教からは13分会24人が参加しました。

### 憲法署名1350万筆突破

主催者あいさつをおこなった丹羽徹さん(大阪憲法会議 共同センター 幹事長)は、自民党が示した改憲案に『自衛隊』を明記したが何も変わらないといっているが、国家のありようを大きく変える重大問題だと指摘。このよう

なやり方は民主主義・立憲主義を破壊するもので安倍内閣は即時退陣を」と述べました。また、全国でとりくまれていく「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」が1350万筆を超えたことを報告し、改憲許さないの声をさらに大きく広げようと呼びかけました。

集会には、立憲民主党・日本共産党・社民党・自由党の4野党代表も参加しました。野党の代表は、安倍政権に憲法を変え、憲法を語る資格はない。野党と市民の共同をさらにすすめる、安倍政権打倒のために全力を尽くしていく!などの連帯のあいさつをしました。

フラカードを掲げる参加者



元気よくパレードに参加しました

### 平和な未来のため憲法を守り生かそう

連帯あいさつで登壇した全国市民アクション・精神科医の香山リカさんは、積極的平和主義の元々の意味である「貧困や差別のない平和こそ真の平和を安倍首相はアメリカ追従、侵略戦争を肯定する集団的自衛権行使容認にすり替えてしまった。いまこそ真の積極的平和主義を取り戻そう」と訴えました。

各分野からは、木村真さん(森友学園問題を考える会・豊中市議)「こなみさん子ども未来を考えるママの会」山本のり子さん(大阪平和委員会青年学生部)陣内恒治さん(ストップ辺野古新基地建設!大阪アクション)らがスピーチしました。

山本さんは、毎年憲法記念日に街頭でおこなっている

「若者100人憲法アンケート」について触れ、「憲法について」かえる2割かえない3割、わからない5割と回答。【9条について】かえる1割かえない6割、わからない3割と圧倒的に9条はかえないほうがいいと回答したこと、その理由として、戦争をしたくない「いまの平和な世の中がいい」と答えた若者が多かったことを報告し、平和な世の中を築くために憲法を守り生かそうと訴えました。

集会のフィナーレは、コールに合わせ参加者一斉に「憲法こわすな!」「戦争アカン!」のフラカードを突き上げました。

集会後は3コースに分かれて繁華街をパレードし、「安倍政権は今すぐ退陣!」「モリ・カケ疑惑徹底追及!」「憲法生かして未来を築こう!」など、道行く人に訴えました。大障教の参加者は、天満橋までのコースを元気よく歩きました。



米国防総省が、2017年度版の「基地構造報告」を公表しました。それによると、米軍の海外基地のうち、在日米軍基地の資産価値総額が75億7270万ドル(約8兆5千億円)に達することが明らかになりました。これは、2番目に多いドイツの517億8千万ドルや、韓国の229億1千万ドルに比べて異常な高さです。

「基地構造報告」で示された資産評価額は、基地内の施設件数や床面積、インフラなどで算定されていて、土地の価格は含まれていません。日本は毎年、世界でも例のない米軍、思いやり予算を計上し、国民の税金を使って米軍基地の施設を新設・改修しているため、必然的に評価額が高くなってしまっています。基地別では、嘉手納(沖縄)・横須賀(神奈川県)・三沢(青森)・横田(東京)・岩国(山口)が上位を占めています。

米軍の海外基地の総数は517で、2年あまりの間に70カ所減っています。中でもドイツでは、この時期に49削減されました。さらに、米国防総省は、今後数年内にもイギリス・ドイツなどヨーロッパ全体で15基地を閉鎖・統合する計画です。

過去10年間でみても、米軍の海外基地は2007年度の823基地から約37%減少しています。これは、「対テロ」戦争の戦費調達に伴う基地維持費の削減や、各国の主権意識の高まりなどが背景にあると思われる。

一方、日本では過去10年間大きな変化はありません。基地の維持費に加え、辺野古新基地の建設費まで日本政府が負担してくれるわけですから、米軍にとってこれほどありがたい国は、世界中さがしても無いでしょう。

第2回北河内分会合同新歓教研 「そつだ！先輩に聞こう！」

3人の青年の発表に大きな拍手が！

4月14日(土)、北河内の支援学校分会が合同で、新歓教研を行いました。昨年に続き「そつだ！先輩に聞こう！」と題して、2回目のとりくみです。交野支援学校、光陽支援学校、四條畷校、寝屋川支援学校、枚方支援学校、守口支援学校の6分会、23名が参加しました。教職2、3年目の「ちよつと先輩」の3人の方に1年目を振り返ってお話していただきました。

初任者1人が組合加入！



さわやかな青年の発表！

「ちよつと先輩の話に心打たれる！」

1人目の先生は、子どもと関わる上で「いつも『なんでもやる』と考えることを大事にするべき」と学んだことを発表されました。子どもの願いに気づくためには関わらないとわからない、まずは信頼関係を築くこと、子どもの思いをまずは『受けとめる』ことが大事、パニックにならず折り合いをつけた姿に子どもの成長を感じた、など、ベテランも改めて大事にすべきことを確認しながら聞きました。

2人目の先生は、担任同士話し合う時間も取れず、会議に追われた実態、担任の思いと子どもの思いの違いが改善されず保護者と連携が取れなかつたつらさ、うまく対応できなかった悔しさをクラスの思いをひとつにして次に生かしたい、という決意を語られました。

3人目の先生は、赴任後の体調不良に対してアドバイスしてくれた先輩の優しさ、復帰して迎えてくれた子どもたちの笑顔を見た喜び、懇談で保護者に向けた言葉での失敗、その失敗があったから覚えていくんだと乗り越えたこと、落ち込んでいた時、先輩に見守られていたことなどを話されました。

若い方々が、「人前で話すのは苦手です」「緊張します」と言いながらも、子どもたちのために悩みがばつてきた報告を懸命に発表させている姿に心を打たれました。みなさん、子どもや保護者と向き合っていく上でどうすべきだったかをしっかり振り返って、前向きに話されていました。発表の中で「身近にいたちよつと年上の先輩があこがれの存在」という内容があり、若い中堅の先生の成長をうれしく思いました。

後半は、年休の取り方や賃金のこと、母性保護の制度など、働く上で知っておくべき権利を学び、組合のとりくみを紹介しました。若い執行委員の先生が、司会や青年部のとりくみの説明を立派に行ってくれたことも頼もしく感じました。

最後に、枚方支援学校ができたこと、交野支援学校が知肢併置から肢体不自由校に戻ったこと、四條畷校が今も存続していることなど、障害のある子どもを守っていくために大障教が果たす役割が大きいことを

まずは緊張をほぐして



まずは緊張をほぐして

鈴木執行委員が発言されました。感想アンケートでは、若い先生からは、同じ2年目くらいの先生の話に共感した、人の意見を聞くことで、自分自身を振り返られた、大阪の教員は怖い人が多いと思っていたが、やさしく頼れる人も多いとわかって安心した、給料や休暇のことを聞けて良かった、という声が多く寄せられました。発表した方からも、1年目を振り返るよい機会になった、新しい初任の人の助けになれるよう、しんどいこと、よかったことを話し合える職場になるよう力になりたいという、うれしい感想が寄せられました。ベテランからは、「子どもの願いから出発する教育」を軸にしてと

大事にしたい、分会活動が職場全体に広がっている学校はよい環境、若い先生を支えたい、などの声が上がりました。私もいい職場にしてくれる先輩がいる、と言われる先輩でありたい、と思いました。

新しい仲間を迎え、各分会での趣向を凝らした新歓のとりくみ (その3)
今年もやりました！ 新転任歓迎花見会
堺支援学校分会
今年も新転任の先生を歓迎する花見を行いました。堺支援の花見の良いところは、新転任の先生を職場の仲間が誘いあって参加してくれるところです。残念ながら雨天のため屋内でのとりくみとなりましたが、オードブルを囲んで和やかな会になりました。本物の桜はありませんでしたが日本各地の桜の映像を流し、旅行気分も味わいました。参加者全員が自己紹介などをして楽しく横のつながりを作ることができました。

第2部では、おいしい中華料理のテーブルを囲んで会話も弾みました。初任者1名が加入され、大いに盛り上がりました。今年も充実したよいとりくみになりました。

枚方支援学校分会 佐々木起美子



最後は分会ごとに集まって話をしました